

学術研究助成者一覧表
(平成28年度・第25回)

[動物学] 30名

NO	氏名	研究課題	助成金
1	大門 高明	カイコとカイコ近縁種の性フェロモンの化学生態学	51.9万円
2	石井 貴広	ボルネオ島東海岸の浅海に生育する軟体サンゴの網羅的生態調査と化学的分類	95万円
3	中林 雅	安定同位体分析を用いたボルネオ島に同所的に生息する果実食性ジャコウネコ4種の共存機構の解明	64万円
4	ステイアマルガ デフィン	博物館収蔵標本を系統ゲノム解析に活用するための技術開発-頭足類八腕目に注目して	76.1万円
5	田中 幹子	脊椎動物の陸上進出による環境ストレスがもたらした新たな発生システムの獲得機構	80万円
6	美濃川 拓哉	箒虫動物の実験動物化と進化発生学研究基盤の確立	75万円
7	鈴木 智之	58年前に生じた枯死木を起点とする腐植食物網の解明	63.5万円
8	木下 充代	ナミアゲハの色覚と送粉に関わる花色の関係	75万円
9	高田 歩	本州産爬虫類の体表に寄生するダニ類の形態分類および宿主特異性の研究	64.5万円
10	佐々木 彰央	日本に生息する両生類の体表に吸着するヒル類の形態分類および対応関係	52.4万円
11	三田 敏治	寄主によって運ばれる寄生蜂の分散能力および適応基盤の解明	80万円
12	江頭 幸士郎	コノハガエル科両生類にみられる特異な形態形質の起源を探る	75万円
13	松本 涼子	インドガビアルをモデルとした爬虫類の収斂進化と水生適応の解明	73.1万円
14	栗田 隆気	住家性のホオグロヤモリの系統地理パターンの解明と外来性の検証	77.4万円
15	藤原 慎一	絶滅動物の胴体の形状と重心位置に基づく体肢姿勢の復元: 四足歩行と二足歩行の姿勢進化について	94.7万円
16	田城 文人	日本産リュウキュウホラアナゴ属魚類の分類学的研究および分布特性の解明	78.9万円
17	杉浦 真治	ミイデラゴミムシの対捕食者戦略: いかにかエルの捕食から免れるか	51万円
18	蓑島 悠介	北部九州における土壌性甲虫の幼虫期の網羅的解明	42万円
19	田畑 諒一	外部および骨格形態の3次元計測に基づく琵琶湖固有魚類の湖沼適応についての定量的考察	70.7万円

NO	氏名	研究課題	助成金
20	宮下 雄博	祖先的な棘鱗魚類を対象とした脊椎骨の比較解剖学的研究：魚類の体制と遊泳様式の進化を探る	28万円
21	清水 壮	ハチ目最原始的なナギナタハバチの寄生蜂Idiogrammatini族(ハチ目:ヒメバチ科:ハバチヤドリヒメバチ亜科)の系統分類学的研究	70.1万円
22	中岡 佳祐	ムサシトミヨの形態的特徴を近縁種との比較により明らかにする	26.8万円
23	内藤 大河	日本産ウシノシタ科イヌノシタ属の分類学的研究	80万円
24	山口 茉莉加	形態・分子データをもとにした台湾産ハエトリグモ科の分類学的研究と種多様性の解明	80万円
25	篠原 忠	物理的防衛と隠蔽効果のトレードオフから探る昆虫の色彩多様化要因	52.9万円
26	三木 涼平	冷温帯性魚類の分布境界を決定する要因の解明－九州東岸をモデルとして	54.5万円
27	高橋 華江	モリアオガエルオタマジャクシ個体・個体群の水位変動に対する応答:変態体サイズとタイミングの可塑性	75万円
28	渥美 圭佑	大胆な個体ほど他種との交尾にも積極的?－属間交雑する淡水魚・アブラハヤとエゾウグイを用いた研究－	75万円
29	照屋 清之介	東アジアにおけるカサガイ類の比較系統地理及び分類学的再検討	65.7万円
30	伊藤 勇人	絶滅危惧チョウ類オオルリシジミの分類、系統地理および保全に関する研究	51.8万円